

# お方ぞき先生の痛みの救急箱



vol.12

当院は積極的に在宅医療を行っています。その中でがん患者の緩和治療を行うことがあります。

がん患者の緩和治療は、治療に行き詰まり根治不能になって初めて導入されるのではなく、がん治療と並行して行われます。がん早期から鎮痛剤が必要な場合もあるし進行して初めて必要となる場合もあります。

「がん」の痛み治療の主体は医療用麻薬です。麻薬の種類や剤形は増えつつあります。モルヒネ以外にフェンタニルやオキシドロンなどが追加され自分に合った薬が選択できるようになりまし

た。剤形も錠剤・顆粒・液体といった内服薬だけでなく座薬や貼り薬もあり使いやすい方法で服薬できるようになりました。

医療用麻薬だけでは取りきれないがんの痛みはペインクリニックの神経痛治療でよく使われる鎮痛補助薬が効果的なことがあります。また、精神的な症状(心の痛み)や骨転移の痛みなどにも投薬が必要になることもあります。

在宅で緩和ケアを提供するためには往診医だけでなく訪問看護ステーションや基幹病院などの地域連携が必要です。当院も複数の施設と連携して診療しています。



## ペインクリニック内科(痛みの治療)

### 山口町おかざきクリニック

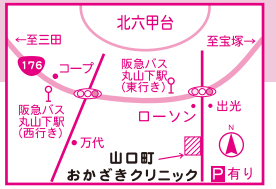
おかざき けんじ  
院長 岡崎 賢治

- ・ペインクリニック内科・麻酔科
- ・リハビリテーション科・内科

**在宅診療あり**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9~12時	●	-	●	●	●	●	-
15~19時	●	-	●	△	●	●	-

△木:午後診17時~19時 ○土:9時~17時



西宮市山口町上山口3丁目3番10号 TEL:078-907-3307

山口町おかざきクリニック 検索